

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-224791 (P2003-224791A)  
 【公開日】平成 15 年 8 月 8 日 (2003.8.8)  
 【出願番号】特願 2002-296868 (P2002-296868)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/76

G 0 6 F 17/30

G 0 6 T 7/00

H 0 4 N 5/91

【F I】

H 0 4 N 5/76 B

G 0 6 F 17/30 1 7 0 D

G 0 6 F 17/30 2 2 0 C

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 14 日 (2004.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画像の特徴量を記録する記憶媒体であって、  
 少なくとも動画像の連続する所定区間から成る区間の代表特徴量を記憶するデータ領域と、  
 、  
 前記代表特徴量によって代表される区間長を示す情報を記憶するデータ領域とを有し、  
 前記代表特徴量は、照合対象映像の特徴量との照合による前記動画像の映像シーンの検索  
 を可能とすることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 2】

請求項 1 記載の記憶媒体において、  
 前記代表特徴量は、前記動画像から抽出された色情報であることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 3】

請求項 1 記載の記憶媒体において、  
 前記代表特徴量と、前記区間内の前記所定区間毎に前記動画像から抽出された特徴量との  
 変動は特定閾値以内であることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 4】

動画像の特徴量を記録する記憶媒体であって、  
 前記特徴量は、  
 前記動画像から所定区間毎に特徴量を抽出し、  
 第 1 の前記特徴量を代表特徴量として、及び、前記第 1 の特徴量の間隔を第 1 の区間とし  
 て設定し、  
 対象となる前記抽出した特徴量を前記代表特徴量と比較し、  
 前記比較の結果が、許容量以内の場合には前記第 1 の区間に前記抽出した特徴量の区間を  
 加え、許容量を越える場合には、前記抽出した特徴量を別の代表特徴量と、及び、前記抽

出した特徴量の区間を他の区間として設定し、  
前記代表特徴量によって代表される区間を示す区間の時間に関する情報とともに前記代表特徴量を記憶されたものであって、  
前記代表特徴量は、照合対象映像の特徴量との照合による前記動画像の映像シーンの検索を可能とすることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 5】

請求項 4 記載の記憶媒体において、  
前記特徴量は、前記動画像から抽出された色情報であることを特徴とする記憶媒体。